

人は変わる、関係も変わる： 自分自身の個別具体的な生について語ること

2024年10月23日（水）
18時00分～19時30分



立教大学池袋キャンパス 10号館 X203 教室

講師：金川晋吾氏（写真家）



対面とオンラインのハイブリッド開催

定員 対面 80名 / オンライン 500名

申込締切：10月21日（月）

お申し込みはこちら→



<https://s.rikkyo.ac.jp/mwoeo2lq>

本講座では、今の私の生活や共に暮らしている人たちを撮った作品『明るくていい部屋』についてお話をさせていただきます。

私は2019年の2月から美術家の百瀬文さんと映像作家の斎藤玲児さんと三人で暮らしています。この三人での暮らしや関係を誰かに説明するときには、女男男の三人で住んでいて、女性は男性それぞれとパートナーであり、男性二人も友だちであり生活を共にするパートナーです、と住み始めたころは言っていました。ただ、この生活を続けていくうちに、私はもう少し別の言い方をしたいと思うようになりました。この言い方だと、どうしても二組の男女のカップルの関係がまずあって、そこから派生した付随的な関係として、私と斎藤さんとの関係があるような説明になってしまう気がして、そのことに違和感を覚えるようになりました。三人の関係のはじまり方はたしかにそうだったのですが、一緒に暮らすということに関してはそうではありませんでした。私は斎藤さんがいたからこそ、この生活をはじめようと思ったのであり、斎藤さんも同じように感じていると思います。

私たち三人が出会うきっかけは男女間の性愛関係でしたが、三人をつないでいるのは性愛ではなくて、どちらかという友愛という言葉に近いもののような気がします。また、関係が継続していくなかで、性的なことの意味や必要性は変化していきました。このような変化は多くの人々が経験していることではないかと思っています。

変化しないことやずっと続くことに価値を置くのではない、たがいが変化することを受容するような関係について、また、自分のプライベートな生活や関係を作品としてパブリックな場に出すことによって何が生じるのか、その意味などについて、みなさんと一緒に考えたいと思っています。

TEL : 03-3985-2307 E-mail : gender@rikkyo.ac.jp

主催・お問い合わせ：立教大学ジェンダーフォーラム <https://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/gender/>